

(2) 平成29年度 事業報告

平成29年度の発酵乳・乳酸菌飲料市場は、国民の健康志向に支えられ順調に拡大した。一方、健康食品全般を対象とした表示の適正化の要求が高まり、行政庁による指導が強化された。また、衛生面においては、すべての食品事業施設を対象にしたHACCP衛生管理の制度化の方向性が示されるなど業界を取り巻く環境は大きく変化した。

これらの状況の下、本協議会は、① 現行公正競争規約・規則に基づく表示の適正化に関する事業 ② 虚偽誇大等表示の防止に関する行政施策の周知徹底 ③ 新しい食品表示基準に沿った公正競争規約・規則の作成 を重点課題として取り組んだ。

1. 公正競争規約・規則の変更

当協議会表示検討部会は、平成27年4月施行の新しい食品表示基準に沿った内容とした「はっ酵乳、乳酸菌飲料公正競争規約・規則」（案）を作成し、消費者庁に提出・協議した。

また、同部会では、規約・規則の解説書及びQ&Aの編集作業を行った。

2. 新しい食品表示基準の普及、虚偽誇大等表示の防止対策等に関する消費者庁通知の周知

(1) 食品表示セミナーの開催（協会との共催）

消費者庁通知「健康食品に関する景品表示法及び健康増進法上の留意事項について」の周知、加工食品の原料原産地表示基準等新しい基準の周知等を目的として、管理職を対象としたセミナーを開催した。

ア 演題：食品表示監視行政の最近の動向

－打消し表示について

－健康食品表示の取り締まり結果について

－加工食品の原料原産地表示について

イ 講師：消費者庁 表示対策課 食品表示対策室 島田敏雄 食品表示調査官

ウ 開催日/場所/参加者数

平成30年2月21日/グランドヒル市ヶ谷/62名

(2) 表示講習会の開催

新しい食品表示基準、及び現行規約の周知を目的として、表示担当者を対象とした2日間の講習会を開催した。

ア プログラム

- －新しい食品表示基準について
- －公正競争規約の改正のポイント
- －表示作成演習

イ 開催日／場所

- 10月5日、6日／メルパルク岡山
- 10月12日、13日／メルパルク名古屋
- 10月19日、20日／グランドヒル市ヶ谷
- 10月26日、27日／セントラーザ博多
- 11月1日、2日／メルパルク仙台
- 11月7日、8日／メルパルク大阪
- 11月15日、16日／北農ビル

ウ 参加者数：計123名

3. 表示の適正化事業の実施

発酵乳・乳酸菌飲料の表示の適正化を図ることを目的とした「試買検査会」を消費者代表5名を招請し、11月30日、グランドヒル市ヶ谷にて開催した。

(1) 検査サンプル

全国の店舗から購入した205品目のうち昨年との重複分を除く125品目（発酵乳105品目、乳酸菌飲料20品目）を検査サンプルとした。

(2) 検査結果

規約に定める表示事項20項目について検査した結果、17サンプル（13社）に不適切な表示が報告された。

(3) 規約不適合表示商品への対応

不適合表示が発見された商品の製造者に対して、電話で内容を伝えるとともに、文書で改善を勧めた。

4. 相談事業・指導事業の実施

日常的に寄せられる、会員、マスコミ、行政等から表示に係る問い合わせに対応した。

問い合わせ件数：155件

5. 消費者庁・食品表示関係団体との連携

(1) 消費者庁との連携

- ア 食品表示に関する行政情報の収集、会員への迅速な提供に努めた。
- イ 行政の方向性やその時々ホットな行政施策の解説に関する寄稿を依頼する等、定期的に担当者との連携に努めた。
- ウ 消費者庁に対して、消費者庁が進める規約・規則の承認手続きの一層の迅速化を、またアウトサイダーによる虚偽誇大表示についての指導の強化を、行政説明会の場を利用して要請した。

(2) 食品表示関係団体との連携

(一社)全国公正取引協議会連合会が主催する行政説明会、意見交換会等に出席し、情報収集を行った。

6. 新会員の勧誘

非会員に対して、当協議会が主催する食品表示セミナー及び表示講習会への参加を呼びかけるとともに様々な機会をとらえて協議会への加入を勧めた。

7. 会員動向

平成29年度は、(株)ロッテ及び(株)豊富牛乳公社の入会があった。これにより、会員数は56社となった。

以 上